

2003 年度

独壇場の3連覇

関西実業団駅伝 (和歌山県：龍神村 80.45km)

3時間59分46秒 (優勝)



3連覇のゴールを切る大塚製薬のアンカー
岩佐一和歌山県龍神村

「全日本」へ 圧勝で弾み

大塚製薬

大塚製薬の独壇場だった。必死に追いつがる2位佐川急便の選手の姿が、区間が進むごとに小さくなっていった。4区に入ると、下位チームとの差が早くも10分開き、大会規定で6チームが繰り上げスタートになった。

気温が20度を超え、汗はむほどの天候になったため、昨年マークした大会記録には約3分およぼなかったが、これで3連覇。大会45年の歴史をさかのぼっても神戸製鋼と倉敷レyonの2チームしか成し遂げていない。

不況を背景に、生き残りをはかいたし烈な戦いを繰り広げている企業スポーツ。その地位を維持するのは容易ではなく、報道陣に囲まれた河野匡監督は「戦力的には昨年と変わらない布陣が組めたが、重庄もある」と胸の内を明かした。

次はいよいよ正月恒例の全日本駅伝。アテネ五輪をにらんだマラソン練習や故障のため、この日は出場しなかったシドニー五輪マラソン代表の犬伏と手塚を加え、2年ぶりの上位入賞を目指す。

岩佐主将は「戦力は2年

前より確実にアップしている。優勝争いに加わりたい」と意気込む。外国人選手が1人もいないチームとしても注目されており、意地をみせたいところだ。